

海南市・紀美野町を中心に生産される家庭用品は、日本一の出荷額を誇ります。市場で販売されているその約8割がこの地域で作られたものです。その歴史は古く、起源は明治時代の棕櫚縄作りにまでさかのぼります。それから百余年のときを経て、棕櫚から化学製品へ素材も変化し、時代とともに進化し続ける家庭用品。今も時代のニーズに合わせた開発が進んでいます。

家庭用品

わかやま一番 ⑤

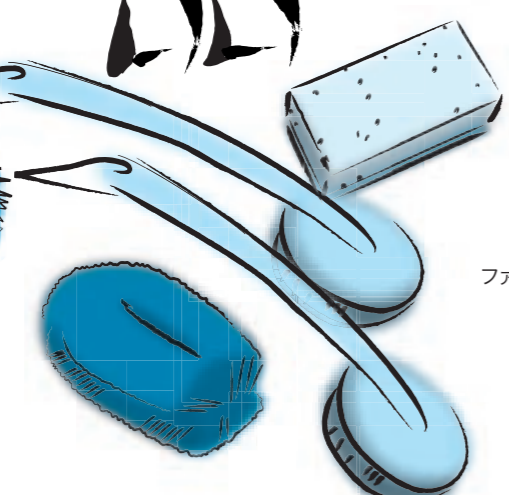
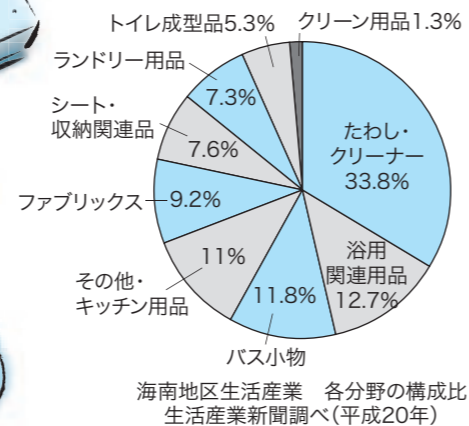
今回は、日本一の出荷額を誇る「家庭用品」を紹介します。

家庭用品のルーツ「棕櫚」

海南地区の家庭用品は、当時、紀美野町周辺で多く植栽されていた棕櫚を材料に、縄やたわしなどを製造していたのが原点といわれています。棕櫚はヤシ科の常緑高木で、直立した幹は約10mに達し、その幹に巻付いている繊維が材料となります。

問い合わせ 海草振興局企画産業課
☎073-441-3373

出荷データ



棕櫚職人

棕櫚を使い、和歌山県名匠にも選ばれた匠の技で棕櫚箒をつくられているのが桑添勇雄さんです。棕櫚に含まれる自然の油分がツヤを与えるということで、最近ではフローリングの床に使用する女性からも人気が出ているとのこと。「棕櫚の繊維は数十年たってもほとんど劣化しないから、何年も使った箒を庭などで再利用する人も多ですよ。」すべて手作業で丹念につくられる棕櫚箒は、機能性だけでなく洗練された美も醸し出しています。

<http://www.shurohouki.com/>



桑添勇雄さん

知っておきたい暮らしの情報

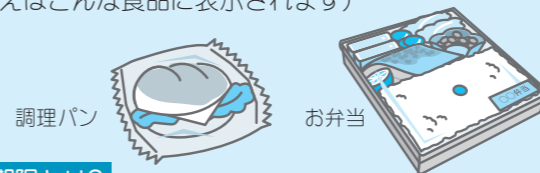
消費期限と賞味期限は、どっちがう?

問 県庁食品・生活衛生課 ☎073-441-2636

食品の袋や容器などに書かれている「消費期限」、「賞味期限」という日付。どちらも期限を示したのですが、意味はちょっとちがいます。

消費期限とは?

その年月日までは「安全に食べられます」という期限を示しています。おもに、お弁当やおかずなど、いたみやすい食品につけられます。(たとえばこんな食品に表示されます)



賞味期限とは?

その年月日までは「品質が保たれ、おいしく、安全に食べられます」という期限を示しています。消費期限に比べ、いたみにくい食品につけられます(つくられた日から3カ月をこえるものは年月で表示することもあります)。日付を過ぎると、すぐに食べられなくなる、というわけではありませんが、早いうちに食べましょう。(たとえば、こんな食品に表示されます)



ここに注意!

消費期限も賞味期限も「袋や容器を開けないで」「書かれた保存方法を守って保存している」場合の、安全やおいしさを約束したものです。一度開けたものは、早く食べましょう!

出典:内閣府食品安全委員会季刊誌「食品安全」Vo.12(平成19年3月発行)より



今月号のひとこま

東京で和歌山の魅力を発信!

高野山・熊野三山シンポジウム (10月16日)

世界遺産登録5周年を記念して東京・日本橋の三越劇場で、グローバルな視点から見た「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力と価値をテーマに開催し、約500人の方が参加されました。第1部は、写真家の浅井慎平さんによる記念講演、第2部のシンポジウムでは、ゲストパネラーに浅井慎平さん、パネリストに金剛峯寺執行の村上保壽さん、仁坂知事、県世界遺産センター長の辻林浩さん、そして聞き手にシンガーソングライターの池田綾子さんを迎え、「高野山」「熊野」の魅力や、そこを旅する楽しさなどについて語り合いました。

問 県庁観光振興課 ☎073-441-2775

Le わかやまマルシェ2009 in 赤坂サカス (10月16~18日)

首都圏大規模誘客イベントとして和歌山の「食」や「観光」を実際に体感してもらうイベントを昨年引き続き赤坂サカスで開催しました。初日は、和歌山の魅力をPRするため、約300人のマスコミ、旅行エージェントに向け、仁坂知事がプレゼンテーションを行いました。その後、池田綾子さんのミニコンサートやマグロの解体ショーなども実施。最終日には、和歌山県ふるさと大使の坂本冬美さんも参加し、歌やおしゃべりで会場の盛り上がりも最高潮に。3日間で4万人を超える人が来場しました。

問 わかやま喜集館 ☎03-3216-8000



県のPRをする仁坂知事